

「悩み」を次のステップへ



本当は「あの人も」「この人も」参加してほしいんだけどな…

多くの方がサロンや玄さん元気教室に来てほしいのはわかりますが、全員人前が好きというわけではありません。サロンや玄さん元気教室をすることで、参加しない人がわかっただけでも大きな成果です。一方で、地域に十分浸透していない場合もありますので、声かけをはじめ、チラシ配付や防災無線、回覧板等、皆さんの目や耳に届く工夫が必要です。



楽しい場をめざすのは疲れちゃったな…

無理して皆さんに楽しんでもらおうと思うと、世話役の方にとって負担になってしまいます。まずは、おしゃべりすることから始めて、たまにお楽しみ場面（ビンゴ、クリスマス等）を織り交ぜてはどうでしょうか。また、無理に皆さんで一つのことに取り組みず、一人ひとりが自由に過ごせる場面も必要だと思います（将棋、囲碁等）。



いろいろとやりたいけどお節介と言われるのがちょっと。特定の人がんばるのもどうか…

「お節介」は、実は「活動」でとても大切なことです。ちょっとしたお節介は言い換えると「気になる」「ほっとけない」ということです。地域にどれだけのお節介さんがいるかで、より良い活動へとつながっていきます。



見守りってどこまでするの。情報共有って言うけどどこまで共有していいのかな…

見守りは「気にする」活動です。どこまでという線引きはありませんが、訪問だけではなく、さまざまな場面で「気にする」ことが大切です。また、どんなにがんばっても一人で地域全体を気にすることはできません。皆さんの「気にする（情報）」を、少しずつ集めることで、きめ細やかな見守りとなります。



豊岡市社会福祉協議会

本所
豊岡市城南町23-6
電話 (23) 2573
FAX (24) 4511

城崎支所
豊岡市城崎町湯島625-9
電話 (32) 4503
FAX (32) 2940

竹野支所
豊岡市竹野町須谷1478
電話 (47) 1423
FAX (47) 1878

日高支所
豊岡市日高町祢布891-2
電話 (42) 0100
FAX (42) 4731

出石支所
豊岡市出石町福住1302
電話 (52) 3024
FAX (52) 5716

但東支所
豊岡市但東町出合433-1
電話 (54) 0181
FAX (54) 0182



地域福祉のポイント

～地域の「**宝もの**」を広げよう～



地域には住民の皆さんが創意工夫を凝らした、さまざまな素晴らしい活動が広がっています。地域活動は、住民交流や見守り、助け合いなど大事な地域の「**宝もの**」です。

今ある活動をちょっと工夫してみる・ちょっとがんばってみると、地域の福祉の力が高まってきます。

発行：豊岡市社会福祉協議会



宝もの① 出会い



地域活動で大切なことは、顔を合わせる機会（集まりの場・出会いの場）があることです。地域で実施されている集いの場（サロン、玄さん元気教室等）や地域行事（イベント・祭り等）はその大きな活動の一つです。



地域の中の宝もの 回々の暮らしが福祉につながる

今ある日々の暮らしの中で、**ちょっと工夫してみること・ちょっとがんばってみること**で広がる活動が、福祉には大切なことです。

「出会い」「楽しみ」「気になる」「分かち合う」「ほっとけない」は地域活動の大切な要素であり「ちょっとがんばってみる」ためのキーワード（地域の宝もの）となります。

宝もの② 楽しみ



「福祉活動ってなんだか難しそう」といった声が聞こえてきますが、活動の原点は誰もが楽しいと思えることです。楽しい場があれば、みんなが集まってきます。そんな楽しいと思えることが、それぞれの生きがいにつながり、皆さん一人ひとりのつながりとなります。



宝もの⑤ ほっとけない



「気になる」を分かち合った時点で、皆さんの中でほっとけないうちに変わり始めます。そして、一人ひとりがちょっとずつ「どうしたらいいの」を考え始めます。それぞれが顔を合わせて話し合うことは、とても大切なことです。

宝もの③ 気になる



顔を合わせたり、楽しい場が増えると「ちょっと変わったことやちょっとした変化」が気になってきます。例えば集まる場があれば、参加者の顔色や体の変化等、以前との違いが気になります。この「気になる」は困り事を早く見つける大切なポイントとなります。

宝もの④ 分かち合う

地域やご近所のことが気になり始めると「どうしたらいいの」という考えが出てきますが、ご近所同士、仲間同士で皆さんが持つ、ちょっとした「気になる」を分かち合うことで、次の活動へとつながっていきます。

